

「天下にイエス・キリスト以外救いはない」

——使徒の働き4章12節——

日本同盟基督教団 清水聖書教会牧師 面 昇

名古屋の友人で市内の繁華街に住んでおられる方がいます。「天下にイエス・キリスト以外救いはない」と大きな看板を掲げられました。この異教の宗教がはびこる中で、これは相当の勇気のいることです。

しかしペテロは、時の指導者を向に廻して、救いはキリストをおいて他にはないと堂々と語るのです。

当時のエルサレムは、ユダヤ人の集まりですから、誠の神を信じていました。しかし十字架に架かってしんだナザレのイエスの事を神とは信じる事のできない人々です。少なくとも当時の指導者たちはそうです。

しかし、ペテロ達(イエス様の弟子達)は、イエス・キリストの十字架は、人が創作した、救い物語出はない事を強調しました。昔の預言者が語り、神の偉大なご計画の中で、この地上に現れたメシヤ、イエス・キリストです。パウロは「神の知恵」だと語りました。

私達が救われる方法は、罪のために身がわりになって死んで下さったイエス・キリスト、しかもこのお方は天の父の愛する一人子です。身を切る思いで送って下さったのです。このお方を信じる事です。

私たちは罪悔い改め、このお方と共に生きようという決心の中で、この身がわりの十字架を信じる時に、救いが起きるのです。

私は子供の頃、肥だめに落ちた経験がありますが、おばあちゃんが「くさい、くさい、この子はどういう子だ！」とって水道水で洗ってくれたことを思い出します。イエス・キリストに救われることは、この肥だめに落ちている様な汚れた所から、引き上げられる事です。そして水道の水でなく、神の聖さです。だから天国にも招きいられるのです。神の子供になるのです。

救われないと、クサイ、クサイ肥だめに入って一生過ごし、最後は永遠の地ごくです。

皆さん、イエス・キリストを罪悔い改めて信じましょう。このお方しか救いはありません。

第23回清水市民クリスマスが近づいてきました。この清水の人々をお誘いし、イエス・キリストの十字架の偉大さをお伝えしましょう。

ゲストの 静岡英和女学院

ハンドベルクワイア

の写真での紹介です 美しい演奏に心をかたむけましょう



徳善義和(とくぜん・よしかず)先生の紹介です。期待しましょう
1932年、東京に生まれる。東京大学工学部卒、日本ルーテル神学校卒、ハンブルク大学、ハイデルブルク大学神学部留学。日本福音ルーテル教会牧師を
歴任。

ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校教授として38年奉仕。
ルーテル教会牧師養成の責任を負う。現在、ルーテル学院大学名誉教授。
宗教改革者マルティン・ルター研究に生涯を捧げており、著書・訳書多数。
現役引退後は、ルター著書の翻訳とともに、バツハの神学的研究を心がける。
日本キリスト教協議会(NCC)元議長、現在は日本エキュメニカル教会理事長、
日本賛美歌学会会長。難しい神学を明瞭簡潔に伝えることができる神学者であり
学生を育てる牧会者である。 (提供:明比 輝代彦 牧師)